



第7回恵比寿映像祭「惑星で会いましょう」展示より
山口典子《KEITAI GIRL》2015年
写真：新井孝明 提供：東京都写真美術館



先端技術と芸術文化との融合により 創造産業を発展させ、 変革を創出

- 時代を牽引する革新的な技術による新しい芸術文化の創造、流通、鑑賞・体験の可能性を追求する。
- 才能ある多様な創造的な人材とグローバル企業^{※1}との新たな出会いを推進し、東京の経済成長を牽引する創造産業の振興を促進させ、変革を促す寛容性の高い環境を創出する。



六本木アートナイト2012の様子

※1 巨大な資本力を持ち、複数の国に生産・販売の拠点をもつ大規模な企業。世界企業。国際企業

東京が持つ芸術文化の力

- 東京・日本は、モノと人がつながっている伝統的なものづくりの精神に支えられ、工業生産で用いられるロボット技術はもとより、介護ロボット、人間型ロボットといった日常的生活の中で人間と共存するロボット技術等、独自の発想により世界の様々な技術革新を牽引している。
- 近年では、先進的な技術と芸術を組み合わせ、新たな表現活動を追求するメディア芸術^{*1}の世界においても、世界的評価を得ている。
- アニメ、ゲーム、デザイン、ファッション、映像といった東京発のポップカルチャーも世界で高く評価され、それらを含む最先端の創造産業が集積、進化する都市として、その地位を確立している。

現在の取組例

- アーツカウンシル東京では、創造産業に属する芸術文化の支援事業の一環として、最新の情報技術を活用した芸術表現活動をテーマとした講演会(セミナー)や討論会(シンポジウム)を開催し、その活動を広めている。
- インターネットを活用した最新の情報技術を利用した創作活動を行うグループが、これまでの芸術、ゲームなどの娯楽、広告の要素を組み合わせた表現活動を行っている。また、次世代型の芸術家や作家を育成するため、多彩な表現を行うための技術や機械装置の仕組みを講義・演習する学校を運営するなど、多様な活動を展開している。
- 現代美術家の創造力や柔軟な発想力と科学者や企業等が持つ技術力を組み合わせ、新たな芸術作品や工業製品の開発が行われている。



「光の蘇生」プロジェクト - 《Counter Void》再生をめぐって
Photo : Masahiro Hasunuma

施策の方向性

東京の強みである高度な技術力と 芸術家の柔軟な創造力により 先端技術と芸術文化を融合させ、 新たな作品創造や 芸術表現を生み出す

- 新たな領域を開拓していくため、革新的な表現を行う芸術家と時代を牽引する先端技術を持つ技術者や企業との出会いの場を創出していく。
- 新たな芸術作品の制作発表の場として、東京都現代美術館をはじめとした都立文化施設を活用する。

最先端の技術を活用した 創作・鑑賞・体験システムの構築

- 新技術を駆使した演劇、音楽等の公演や、世界中の人々が東京から発信される芸術文化を、世界中のどこでも鑑賞・体験できる事業など、情報技術の革新が日進月歩で進む現代ならではの仕組みを企業等と開発する。

創造産業の活性化を促す 環境の整備

- 都市開発に創造産業の機能を取り入れ、拠点化を計画する都市開発事業者をはじめ、教育機関や企業などと協力して、創造産業の人材育成等の活性化を促進する。
- 開発理念（コンセプト）、技術、品質など、物質的な特性はもとより、様々な社会課題の解決に向けた方策を、視覚、触覚等により簡潔に表現し伝えるための重要な手段として、デザインを戦略的に活用するための環境整備を促進する。



第7回恵比寿映像祭「惑星で会いましょう」展示より
久野ギル《Haze》2012年
写真：新井孝明 提供：東京都写真美術館

※1 文化芸術振興基本法によると、映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他電子機器等を利用した芸術と定義されている。

先端技術を活用した鑑賞・体験システム例

プロジェクションマッピング、インターネット技術、無人小型ヘリコプター（ドローン）など、最先端技術を活用し、芸術やデザイン、娯楽や広告等、既存分野の枠組みにこだわることなく、様々な分野を組み合わせることで、新しい表現方法が生み出されている。こうした活動は、世界的に見ても高い独自性を持っており、国内外から注目を集める創造企業が東京に数多く存在している。

NIKE 'house of mamba' LED basketball court in Shanghai / 2014 © NIKE

中国・上海にあるバスケットボールコート「ハウス・オブ・マンバ」。コート全面がLEDでできており、選手の動きに反応して、コートに映し出された映像が変化し、観客が選手の動きを視覚的に楽しめるようになっている。

また、選手一人ひとりの動きを記録し、個別の練習メニューを表示することも可能である。



“physical presence”Intersect by Lexus × Rhizomatics at MAT / 2014 / ©media ambition tokyo 2014

最先端の技術を使った芸術文化を東京から世界へ発信することをテーマとした、2013年から六本木ヒルズほかで開催される展覧会（MEDIA AMBITION TOKYO [MAT]）で、展示された作品。

クルマを後ろから見た美しさを活かし、LED蛍光灯の光と、音と、風によって、六本木ヒルズの窓を突き破り東京の街へ出ていくような演出を施している。



Intel Museum of Me



自分が、ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS※1)の「Facebook」に投稿している写真やよく利用する単語、インターネット上で得た情報等の履歴を、美術館に展示されているかのように映し出してくれるインターネットのソフトウェア。

まるで美術館を歩いているような映像と音楽で構成されている。

JINS MEME : R&D support, Creative by Rhizomatiks



メガネの鼻パッドと眉間部分にセンサーを取り付け、目の動きや瞬きのリズムを感知。その動きに合わせてバックに映し出されたデジタル映像が、躍動感のあるサウンドとともに変化する芸術作品。

この技術や表現技法を応用し、仕事の「疲れ」や「集中度」を数値やイラスト等で判断したり、ドライブの安全運転支援、医療やリハビリ等、人々の生活に密着した場面での活用が期待されている。

夜の上野公園に最先端の映像技術を使った映像作品の投影を展開。利用者数の向上と、海外への日本文化発信を目指す。また、上野の各文化施設が持つ収蔵作品などのアーカイブを使って、各館のキュレーションによる夜間展示を実施。公園全体に展示施設を設け、人の循環を作る。



地面からせり出す スーパーハイビジョン巨大モニター

巨大な8Kスーパーハイビジョンモニターと、最新鋭サラウンドシステムを使い、高精細映像で作品を上映。能、オペラ、コンサートなどのパブリックビューイングとしても活用できる。



季節はずれの桜並木に満開の花 四季の映像プロジェクション

夏、秋、冬でもあの満開の桜が見られる。桜の木にプロジェクションを施し、春の桜を夜だけ再現する。さらに、日本の四季の移ろいも表現することで、海外からの観客を楽しませる。

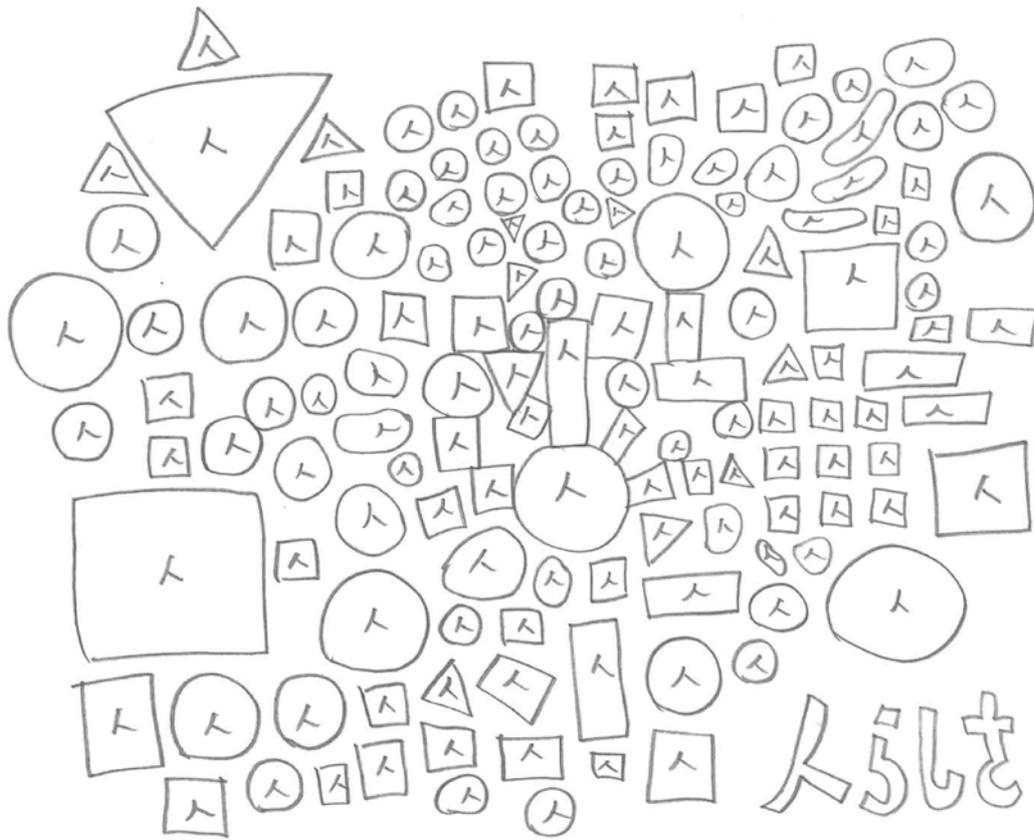
※1 個人間の意思や感情、思考の伝達を促進し、社会的なつながりの構築を支援する、インターネットを利用したサービス



Message from Katsuhiko Hibino

アーティスト
東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授
東京芸術文化評議会 評議員

ひびのかつひこ
日比野克彦 氏



Message from Ryohei Miyata



金工作家
東京藝術大学学長
東京芸術文化評議会 評議員

みや た りょう へい
宮田亮平 氏

